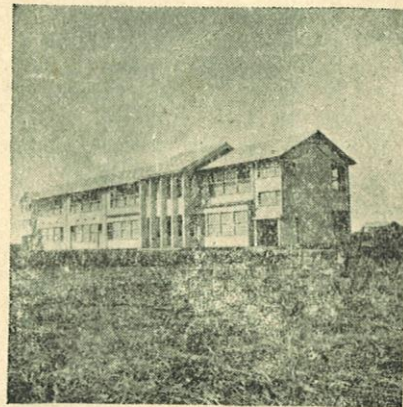
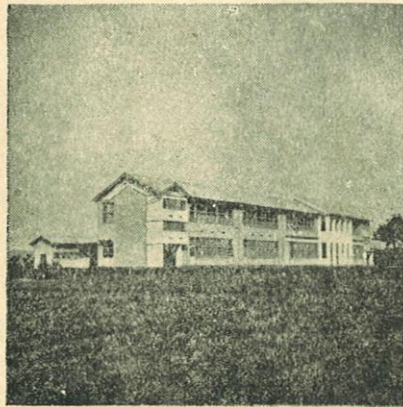
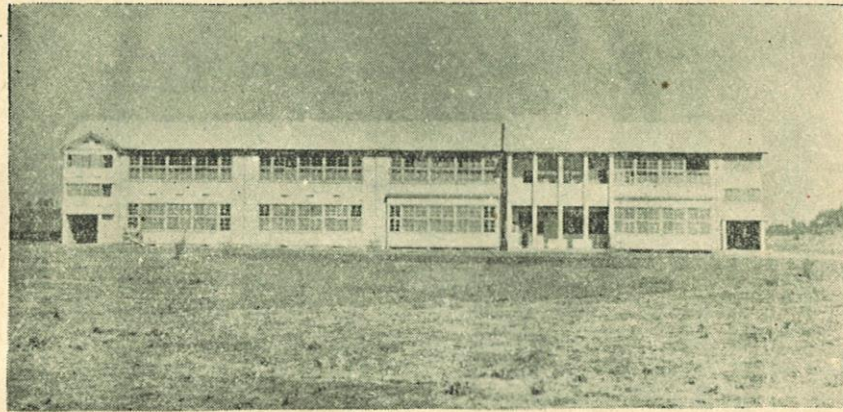


栄中學校全景



昭和二十九年二月竣工

ゆかりも深い館山台の上に立つスマートなみどりの校舎、これはわれらの中学校の新校舎である。われらのあこがれの校舎である。さあ、希望に胸をふくらませながら、この学舎をのべてに登校しよう。

こゝはえらばれた少数者のための学校ではない。すべてのわが村の青少年のための中学校である。男子も女子も、能刀の高い者も低い者も、家庭の富める者も貧しい者も、将来どんな職業にこゝろさず者も、こゝごとくこの門をくぐるのである。そして一方には誰もこのつとめている。新しい日本をきりひろくするため、国民的理想を高くかかげて、これを達成しようとしている。そのために民主社会の市民としての教養をつみ、職業への準備をすゝめていく。

紫におう筑波山、水清き桜川、みどり輝き水々、この美しい自然は、みなわれらの心を清め、たくましく健康にそだて、くれる。この学舎をこゝろのふるさと、共に進んでゆく。そのすべて念じてやまない。

猪俣 三郎

『さかえ』 三月号目次

表紙	栄小教頭 鷹巣 清
題字	栄村長 藤沢 勘兵衛
扉	栄中校長 猪俣 三郎
口絵	新築なった中学校全景(写真版)
落成を述べた村民の皆機へ	一 中学校の落成を祝う
祝辞の数々	二 実験学校研究所協議会
表彰に輝く子供会	三 中学校新築寄附者芳名
新制中学校敷地図	四 竣工式と祝賀会
新制中学校平面図	五 感謝状を贈られた人々
中、校建築事業経過大要	六 祝賀協賛会役員名簿
観音台に立ちて	七 祝賀協賛会役員名簿
中、校新築落成に当りて	八 祝賀協賛会役員名簿
中、校舎の新築を祝して	九 中学校卒業生名簿
建設委員と後援会	一〇 中学校本取組員名簿
俳句(一)	一一 祝賀協賛会収支決算
感謝の言葉	一二 祝賀協賛会収支決算
一生の深い思い出	一三 みのり貯金当籤番号
	一四 竣工記念品寄贈者芳名



落成を迎えて

### 村民の皆様へ

村長 藤沢勘兵衛

この度皆様御待望の中学校々舎の工事落成を見ました事は、私にとつて最も感涙に堪えないところであります。

抑々この事業は前村長飯島吉亮氏時代に計画が樹てられ、敷地の予定地も既に現在の位置に想定され、一応の予算措置もなされて居つたのでしたが、私がそのあとを引継ぐに当り計画全般の再検討を余儀なくされたのであります。というのは設計の変更及経費の増額による必然的計画費でありまして、村議会は勿論村民各位に対して再協議を煩わすことになつたのであります。その結果連夜の部落座談会をはじめ、何處かの建設委員会や協議会を重ねまして、全村一致の御協力を再確認の上実行にとりかかつたのであります。

その間工事が余りに長引き過ぎた為、村内村外から共に色々の批判や叱声や疑意悪言伝まで受けざるを得ない状態にさらされました事は、何と申しましての私

の不明不徳の致すところでありまして、如何様にもお詫びの術を知らない次第であります。と申すは遅延に遅延を重ねましたが本校舎の一応の竣工は見たわけで御座居ます。とは申せ実際はこれからの工事が大変なものであります。先ず運動場の整備をはじめの宿直室、小使室、給食室、図書室、衛生室等の附属室建物を建てなければ一通り整備された学校というわけには参りません。又通学道路の補修や正門入口及び周囲の築堤植樹等、早急にやらねばならぬ沢山の工事があるわけです。御存知の通り村予算は極度に窮乏しておりますし反面資材はジリ高状態にあり、今後の工事こそあらゆる面から推して難中の難と考えられますが、本村将来の発展の鍵ともいふべき此の中学校の完成は、全村あけて是が非でも解決せねばならぬ問題でありますので渾身の力をふりしぼつてこれが実現に努力し、皆様と共に完備された偉容を小り仰いで共に宿願貫徹の喜びを分らたいものと念願しております。皆様におかれましては何卒こうした事情を御諒察下さいまして、今後の難事業達成の急特段の御協力と御支援とをお寄せ下さる様切にお願、して止みません。

(1)

(4)

整備は又、教育の基礎であると言つておけして過言ではないと思ひます。

我が国が終戦後経済的にも思想的にも極めて混乱な最中に於て教育制度の改革を断行し六三制を実施致しましたのも教育の重大なるがためであることは申すまでも有りません。

然し、これが実現に於いては各町村共御承知の通り甚だ困難を極めて居る状況でありまして実施後七年を経過しましていまだに完成のいきに達して居ないのであります。

本村に於いては、この困難をよく克服し教育村の名の通り教育環境絶好の地に、堂々たる二階建校舎を建築せられましたことは偏に村長さんを始の村民各位の教育によせる、理解の賜と深く感謝致す次第で有りります。

立派な学校に優れた教師のもと教育が行われるとき、本村中学校生徒諸君の幸福を思いましますとき、前途に刀強いものを感ずる次第であります。

尚生徒諸君には、諸君が待ちに待つた立派な学校が出来ました。こんなうれしいことはないと思ひます。

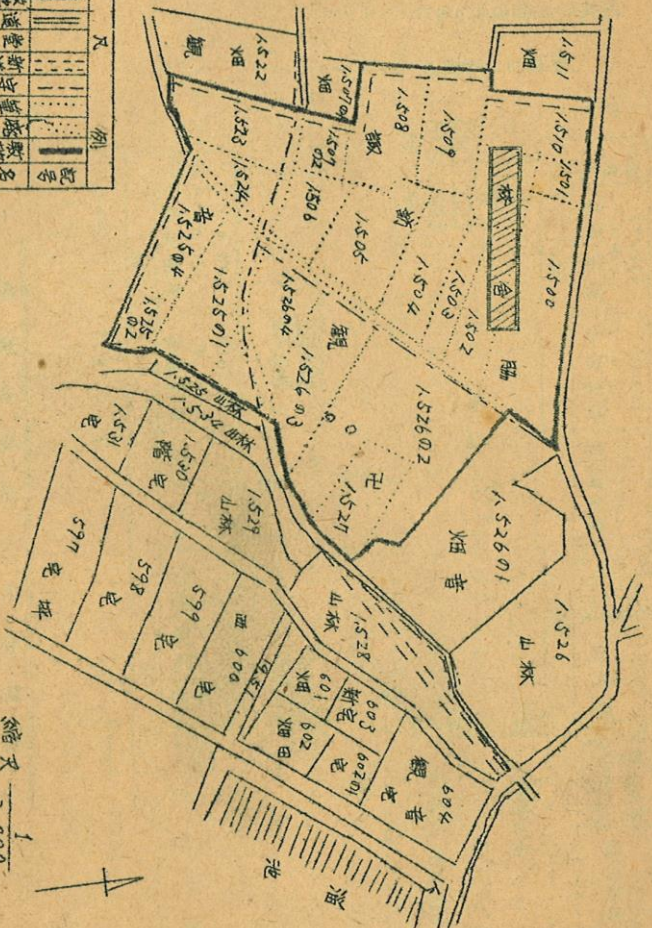
この学校が出来上つたのも、諸君の父兄の方々が諸君等の勉学への送り物であると言ふことを考え、大切にすること口勿論であります。本校の有意な人物となることを誓つていただきたいと思います。皆さんにこのことを心からお願致します。

簡単では有りますが祝辞と致します。

### 表彰に輝やく子供会 三月七日

本村子供会は優秀子供会として、これまで四年連続表彰の栄誉を記録して参りましたが本年度も更に表彰されました。去る三月七日県知事より輝やかしい表彰と幻燈機一台を頂いて居りました。誠に本村子供会発展の為御同慶に堪えません。今後更に充実した活動を展開して名実ともに表彰にふさわしい子供会になる様、村民の皆様御指導と御援助を御願致します。尚後援会長として敬身的な御指導を頂いている両田久先生も子供会育成功労者として表彰を受けられましたので子供会に重なる喜びに雀躍の形であります。心から先生の御苦勞を感謝申し上げると共に雙手をあげて此度の御栄誉を御祝い申し上げます。

新制中学校敷地図



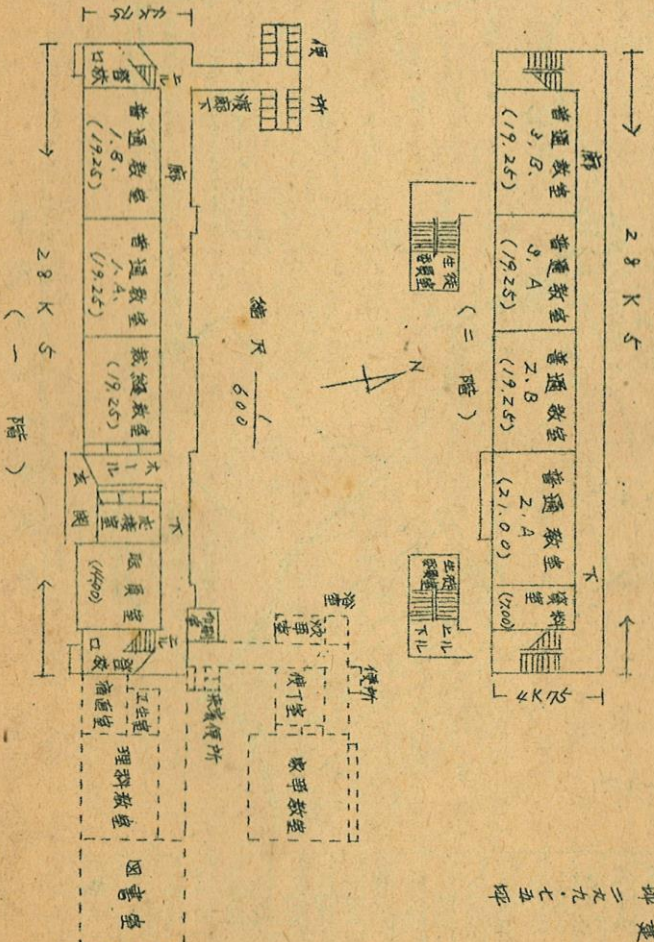
記号	名称	敷地	用途
■	敷地		
□	名称		
○	地区		
○	用途		
○	学果		
○	字果		
○	新道		
○	道		
○	道		
○	道		
○	道		

縮尺 1/2,000

敷地	地番	地積
1,500	317	
1,501	42	
1,502	142	
1,503	153	
1,504	199	
1,505	163	
1,506	152	
1,507-1	79	
1,508	190	
1,509	177	
1,510	122	
1,523	190	
1,524	100	
1,525-1	427	
1,525-2	58	
1,524-4	172	
1,525-2	414	
1,525-3	244	
1,526-4	132	
1,527	131	
合計	3,595	

(5)

新制中学校舎平面図



木造  
二階建  
延建坪二九九・七五坪

は新築した建物  
は少二次増築予定建物  
教室内の一ヶ所とあるは学年及組  
△ 増築内の敷量坪数

(6)

## 中学校新築事業経過の概要

中学校新築問題の経過については、当初の動きは「さかえ」廿七年九月発行教育特集号に報道した通りであるが、表面化して活潑な動きに入ったのは田和廿七年三月十一日、小中学校PTA常任委員会において小學校増築の件を可決し村に要請したの始まり、村は今年五月廿一日本問題に付公民館に村議、PTA役員との合同会議を開いて研究し、今六月九日この両者に諮問委員を加え、協議の結果中学校独立校舎新築の案を採択し、位置も金田西坪台を予定し、用地委員を選任して具体的準備に入ったのである。以下其の後の経過につき日記的にその概要を記述して見よう。

○田和廿七年六月十五日六三制建物整理の国庫補助申請書を県教育委員会へ提出。○今七月七日起債希望額額書を県知事へ提出。○今七月廿六日村債を定むる取源とする中学校新築費予算五五三三三七円を村議会に提出今日議案可決。○今七月廿九日文教施設国庫補助事業承認さる但し承認坪数五二坪。今年八月二日

前村長満期退職。○今八月三日現村長就任。○八月十六日公民館に建設委員会を開催、建築士上田次郎氏より設計上の内容説明を聴取、後正副委員長及実行委員を互選（別項記すの通り）。○今九月廿八日上田次郎氏に依頼せる設計出来。木造スレート葺三階建延建坪二九九坪七五。設計金額五四三三七三八七円であった。

○今十月七日。今八日の両日沼尻弘、酒井伊右衛門の両氏を県地方課、国庫財務局水戸支局へ派遣し事業計画の内容並に起債の件に關し説明せしむることむ。折衝を行はしめた。○今九日県地方課及国庫財務局と折衝の結果に基き村議会を開催して、その充当取源の計画変更をなし更に単年事業の計画を三ヶ年の継続事業に変更した。○今十一月六日県において建築設計承認。○十二月四日公民館に村議、教委、PTA役員との合同協議会を開催して計画変更の取更の件を附議した。○今六日前記の外更に常設委員を加え新附金募集の件に付協議。その結果五七日より十五日まで毎晩各部派へ出張懇談会を開催して寄附につき村民の協力を求めた。○今十六日国庫補助増額の件を文部大臣に対し申請。○十二月廿一日工事に關し専門委員を定め午後

（8）

一時より役場に該委員会を開き工事請負に關し提案入札の件を決定した。○十二月廿八日入札書開札の結果中込勲滋氏に落札と決定した。○十二月三十日教育委員会を開催して整備予算を編成今日村議会に提出、村議会は今日直に本会議を開き継続事業予算六五〇万円を可決した。○今十二月三十一日村長及中込勲滋氏向において請負契約締結。○廿八年一月七日地鎮祭を執行。○今一月廿日着工。○一月廿五日設計者より請負入に対し施工上の細密なる注意を行う。○一月廿九日起工式を挙行した。○二月十六日工事業年度繰越申請。○二月廿一日起債五五万円知事より許可。○今廿七日国庫水戸支局において起債承認。○三月一日工事材料検査。○四月三日上棟式。○六月八日屋根工事終了。○十月廿一日左宮工事終了。○十月廿四日土浦取業安定所長より取業安定法に抵触の故を以て請負人に対し工事中止を命ぜられた。○十一月十六日特殊条件を承認して前記安定所長より工事中止解除。○十一月十七日建具工事着手。○十二月廿日塗装工事着手。○廿九年二月廿七日一応工事完了。○三月三日県探官の竣工検査により四七ヶ所の手直しを命ぜられ目下手直中。

## 観音台に立ちて

教育長 塚 本 清

春とはいえ、残雪のとけやらぬ旅今、誠にお寒いところではありますが、新治地方事務所長さんを始め多数の来賓各位をお迎えして、村の皆様と女に中学校独立校舎の竣工式を挙行出来たことは、実に御同慶に堪えないところがあります。

昨年一月二十日起工以来、一年有餘の歳月と総経理予算六七三万円と數十回に及ぶ各種会合をはじめPTAの会員の皆様や各種団体の協力によつて、こうした立派な校舎の誕生を見たのでありますが、その向に寄せられた皆様の並々ならぬ御苦勞と御協力とを想うとき、只感謝感激まこと胸に迫るものがあるのであります。この観音台の地こそ、遠く時代史的に見ても意義深いところであつて、本村文化の発祥地でありまた、ここに青少年学徒の学び舎を建立して將來の対抗教育の殿堂たらしめたことは、伝説ある教育村として誠によるべきことであり、此の感激に満ちた感縁を契機として、益々協力一致、皆様と共に青少年教育の大道を推進していさいたいと思ひます。

（7）

恵まれた小学校、中学校の子供達へ。村の父兄の皆様が御苦勞下すつて建て、下すつたこの学校を大切にしたい。大いに勉強しよく働いて体力をやり、教養を身につけ、他日立派な村民として社会人として活躍出来るよう努力すると共に、今日のよろこびを忘れることなく、衆中学校生徒としての誇りを益々輝かしていただきたいのであります。

茲に中学校独立校舎の竣工式に当り、村の皆様や建築関係者、関係官庁より寄せられました御協力御指導に対し深甚なる感謝の意を捧げて御挨拶と致します。



### 中学校新築落成に当りて

中学校長 猪俣 三郎

すべての青少年に中等教育をせしめは才一次大戦後の世界的動向であつた。わが国も民主的公平和文化國家を再建するためには、国民大衆の教育水準を向上しなければならぬ。この切実な要請によつて新しい中学校は発足したのであつた。

中学校教育は義務教育の最後の段階であり、かつその対象となる生徒は青年前期の動搖期に當つておりま

す。この時代の指導如何が、生徒の一生を支配する程大切なものであります。又この教育が十分成果をあげるとその村は興隆し、國家の發展を期することが出来ます。

このように重要な中学校も、校地の獲得や校舎の建築には自殺した村長を出した程実に困難であつた。本村に於ても幾多の困難は伴つたが、幸にして村長さんを始め全村の方々の御協力によつて、茲に美しい自然的環境の下に、ゴウ録の色も鮮やかに、才一期工事の完成をみました事は誠に御同慶にたえません。

また理想の域に達するためには、附屬建物の増築を始めとして、運動場の設備、尚教育内容に即して実験観察実習等の設備施設の充実等、幾多の問題を残しております。これは村政の可能の範囲内で次々に充実していただき、理想の学園に於て本校の生徒が勉學出来る日の近いことを、念願いたします。

私共本校中学校に取を奉ずる者は、先賢の方々が教育に心身を捧げ、日と共に進み年と共に充実して、教育村榮村の輝く伝統をつくり上げていた。いた華に思いをいたし、どこまでもそれを守りつづけたいと存じ

ます。そしてこの中学校新築落成に当り、全村の皆様へ感謝すると共に、ひたすら生徒の幸福のため形式内容共充実して、父兄の御期待に添うよう努力する所存を御座居ます。

### 中学校舎の竣工を祝して

小学校長 根本 養三

顧るに戦後学制の一大改革によつて大ニ制が実施され義務制の中学校が各町村に設置されることになるや本村に於ては他に先んじて、新制中学校の整備を怠りぬ。あの混沌とした社会情勢の中にあつて、教育優先の責を挙げてきました。その後時の進展に伴い中学校教育の重要性は益々その際々を加えんと共に、狭い敷地に小学校と併置されていることの不合理が痛感されて漸く独立校舎新築への気運が高まり、遂に今日の竣工を見たのであります。教育伸展の爲誠に慶賀に堪えませんが、この同様の衝に當つた方々の苦勞はもとより、村民名位の並々ならぬ御協力とに対し衷心より感謝申し上げます。

北に紫峰筑波を仰ぎ、眼下に霞浦の扁帆を望み得る

この恵まれた自然環境の地に聳え建つ、モダンな校舎は教育の殿堂として、誠にふさわしく、その竣工と共に本校教育上一新紀元を劃すものといえます。ここに学び子らの真に中学生たるの自覚に徹し、切磋琢磨し、新進日本の発展に貢献し得るよき公民たるの資格を体得されるよう切に祈つて止まない。

### 中学校建設委員会

- 委員長 藤沢勘兵衛 副委員長 西田節二、久松信一
- 工事委員長 久松信一(兼任)
- 専任委員 久松信一(兼任)、西田節二(兼任)、根本一之、市村徳夫、平島依太郎、酒井作衛、柳沢卷一、藤沢勘兵衛(兼)
- 実行委員 酒井 晋、久保田泰、市村徳夫(兼)、根本一之(兼)、酒井作衛(兼)、沼尻 正、柳沢卷一(兼)、酒井正衛、高岸仁蔵、飯島菊雄、米穂要蔵、沼尻要之助、大山好農、酒井 雙、諸井徳一、藤沢 達、原本 清、沼尻軍一、酒井善市、片岡秀康、久松 誠、沼尻文好。
- 委員 酒井助衛、小林喜一、小倉松三郎、飯島重夫

大久保四郎三郎、整部竹太郎、牛岡弥一郎、豊島一之丞、豊島亨、五頭良雄、久松茂、根本登本、橋徳治、飯島竹次郎、宮本直木郎、久保田健一、塚本久弥、酒井新一、牛嶋孝一、豊島正雄、徳俣三郎、根本養三、酒井きよ、根本嘉平治、飯島吉克、菊池民雄、酒井治郎、沼尻謙次郎、諸川辰雄、宮島正、久保田一郎、沼尻正男、岩瀬芳一郎、沼野武男、黒田三郎、岩瀬弘、沼尻四郎、酒井喜幸、沼尻冒雄、酒井伊右卫門、沼尻弘。

中学校建設後援会役員

会長 岡田節二、副会長 久松備一、酒井きよ、沼尻久好、「理事」 酒井依衛、平島作太郎、市村徳夫、根本一之、柳沢春一、「幹事」 菊池民雄、

天に雲雀地に開校を祝ぐ人等  
 初雲雀今日の開校祝ぐごとく  
 曹解道南校を祝ぎ人住き来  
 南校をことほぐごとし揚雲雀  
 校舎成り明るさ村の彌生かな  
 開校を祝ぐ野の麦の茎立ちぬ

酒井雪花 全  
 永田晋野 全  
 坂本暮村 全  
 飯塚平水 全

感謝の言葉

中学三年 片岡 宏文

「新校舎」、我々の待望の、この新校舎、新しい校舎の香る校舎、「新校舎落成」、この言葉をどれほど楽しみに待ちわびたことだろう。月日が立つのは早いものと我々三年生は早や卒業同進となつたが、しかしこの新校舎にて才一面の卒業式の出来る喜びはどの様に大きいかわかりません。これも村長さん始め村の皆様の方々の結晶であると感謝しております。澄みさつた青空の下、東に玄々とした霞ヶ浦、北に筑波山を仰ぎ見られる文化村集村の台に立つ壮大な、かつ美しいこの新校舎こそ我々の学習を一層上達させ一層自然的にしてくれると信じます。私達は、この村の人々に感謝することと共に、大切なことは、この新校舎を大切にして、一層学習にはげむことです。こんど運動場も玄々としているので運動も十分出来るでしょう。このめぐまれた環境の中でお互に思うをんぶん活動しようではありませんか、そして、この落成の日を感謝を

胸の中に奥深くしみこませて、この学校を後輩のためなほ一層よりよき学校にしましょう、この記念すべき日こそ我々の一生忘れ得ぬ事となつてのころことです。この新校舎落成に力をつくして下さつた、村長さん始め、村の皆様、に、「立派な学校をどうもありがとうございます。」とお礼を言つて、筆を置くことにします。

一生の深い思い出

中学三年 平島 広子

青い／＼空、玄々とした表畑、ふばりがさえずる、かげろうがもえる、木々の枝からは黄緑色をしたかわい、新芽が雨文、春です春がやつてきたのです。どこもかしこも春のおとすれと共に希望に満ち溢れて居ります。私達の待ちに待つた新校舎が落成した。それは春のおとすれの荘びにもまして私達に尚一層の希望と勇気を与えてくれます。あの雄大な筑波山を北に、霞ヶ浦を東に眺めながら学ぶ私達のその時の気持ちを御想像下さい。幸福感でいっぱいになつてしまふでしょう。

中学校の落成を祝う

小学六年 岩瀬 栄

新しい中学校が村の人達のおかげで、立派に出来あがりしました。本當にうれいことです。新校舎からは、東に美しい霞ヶ浦を望み、北に筑波の秀峰を仰ぐことが出来その学びやで、勉強できる中学のお兄さん、お姉さんのお気持はどんなでしょう。考えてみるだけでもうらやましく思います。新校舎は、大業一時は心配され、暗い面もありまし

た。然しどこまでもやりとげようとする村の人達の熱意が、最後に実を結ぶ今日みる立派な新校舎が出来あがったのです。この恩に報いるべくこれから一段と勉強に運動に精進しなければなりません。そして、りっぱな子供になつて村の人達を長ばせなければならぬと思います。私達小学生一同心からお祝い申し上げ前途を祝します。

新校舎の落成式を目前にひかえた村の方々は花びに満ちあふれ落成式の準備で忙がしいことでしょう。

やがて櫻の花がほころぶ頃、あの木の香りのたかい、中学校の新校舎に迎えられるお兄さん、お姉さん達の、心はおどろき希望は大きく、一生忘れることのない花びの思い出となることでしょう。

新しい校舎に学ぶお兄さん、お姉さん達に私達小学生は大きな望みと期待をかけています。それから一日も村の人達の温い心を忘れてはならないことを。又、村の方々に感謝し学習に精進されるようにお願いいたします。

新校舎から見下ろす村全体は、私達の美しい村であり、仲のよい人達が住んでいる村です。そのことを毎

日心に感じやがて一歳と村を、園を立派なものにするための修養をつまらせてこそこの花びと村の人達への恩に報いることでしょう。

このお祝いにあたり、私達小学生は心から今後のお兄さん、お姉さんの御活やくを期待し、又村の方々への感謝をさげたいと思います。

実験学校研究協議会の開催（小学校から）

小学校は県指定実験学校として一昨年より学校経営全般に亘る研究を続け、毎年その成果を発表して参りましたが、去る三月四日には才三年度の研究会を開催し郡内より百余名の参会を得て極めて盛会裡に、然も前期の目的を達成して終る事が出来ました。とりわけ講師の先生方から温分の賞讃と今後の努力方などについて御承教を頂くことの出来ました事は、この上もない感銘であります。新年度からはこの三年間の研究を土台とし、一般の発展を期して努力を続けて参りたいと取組一致して誓い合っておりますので、皆様の御支援と細協力をお願い致します。

中学校新築費指定寄附者芳名

廿九年二月末日現在現金  
収納済の分順位不同

金 額	氏 名	金額	氏 名	金額
一金一万五千元	又松 盛男	一金五百円	櫻井 光	一金九千元
一金一万六千元	村談十六人	一金四百円	酒井 邦夫	一金九千元
一金一万円	巖委二十人	一金四百円	倉田 利夫	一金千円
一金一万円	飯島 吉光	一金五百円	渡辺 信雄	一金三千五百九十九円上
一金二万円	又松 信一	一金二万円	大沼 光夫	一金五千二百二円
一金八万六千元	藤沢勤兵衛	一金一万二千円	宮沢 信子	一金二万二千八百五十円土器屋一区分
一金千五百円	猪俣 三郎	一金九千円	石渡 直次	一金二万五千八百二十分土器屋二区分
一金千円	赤塚世蔵子	一金九千円	中沢 富美	一金三万四千七百七十円
一金七百元	石田 茂子	一金九千円	野口 省三	一金二万二千二百円
一金五百円	松井 泰雄	一金九千円	岡田 節二	一金二万二千四百四十円
一金五百円	栗栖 三男	一金九千円	根本 一之	一金一万三千四百五十九円
一金五百円	木村 憲	一金九千円	豊島一之丞	一金五万八千六百円
一金五百円	藤田 卓	一金九千円	久保田 泰	一金千二百円
一金千二百円	根本 養三	一金九千円	酒井 晋	一金三百円
一金六百円	笹本 節子	一金九千円	輕部哲太郎	一金二百円
			五頭 良雄	一金五千八百三十八円
			庄岡彌一郎	一金三千六百六十八円
			大之保四郎三郎	一金三千円
			小倉松三郎	一金四千二百七十八円
			豊島 享	合計金六十五万二千二百二十六円



### 中学校竣工式と祝賀会

轟然と鳴り響く号砲一發。時は昭和廿九年三月六日午前十時。待望の中学校新築落成式は両坪台上の新校庭において挙行せられた。この日。天は密雲に肉ざされ。春とは言いど猫浅く。寒風凜烈として肌を刺す。さすがに雨師も今日の盛典を祝してか。筑波の峯は雲もかゝらず。くつきりと美しい姿を北方の雲際に表して居る。玄宮前に出まされたアーチも心憎きまで緑いや濃く。竿頭高く舞る日章旗。筑波道にはためく万国旗。式場には生徒、児童、関係者、村民計懸慮七百が既に肅然として整列している。村長、末賓、係員入場して定め席につけば、助役の兩式の辞により式は開始せられた。次いで教育長の挨拶、工事委員長代理の工事報告、村長式辞、中学校長挨拶、功労者に感謝状の贈呈、末賓祝辞、生徒代表答辞と盛儀の函巻はつぎつぎと繰り広げられ十一時半久松教育委員の閉式の辞によつて極めて厳肅裡に終了した。着工以来一年有二月、巍然として聳えたつスマートな大校舎を眼前に仰え

で何れも深い感激に打たれた。式後協賛会主催祝賀の宴は直ちに木の香も高い新校舎の二階で開催された。会するもの未賓、会員合せて約二百四十、岡田会長の挨拶あつて宴に入り、何れも和気藹々の中に将来の教育振興を念願し、伸び行く子供等の前途を祝福しつゝ、汲み交はす酒盃は、たとへ時節柄それが粗酒粗肴であつても恐らく甘露の味であつたであらう。宴酣を過くればとろり陶然として万丈の気をはく者、酔歩漫々一歩は高く一歩は低く踏む階段もあぶなかしげな者三々五々と会衆は庭前の一隅に設けられた余興場の方へ歩みぞ移して行つた。余興場では午後一時、樂協みのり貯金の抽籤会が始まり、観衆の中には抽籤毎に一喜一憂するものもあるも面白い。抽籤会終れば愈々樂協、協賛会共催の余興である。まず東京より来着したNHK若手芸能家山遊専金太郎の新作落語をトツプに、音楽万才、奇術、笑う曲、アコデオント唄、音楽万才等が上演され一日の歡を盡した。元龜天正以前の昔はいぞ知らず。恐らく観音台上空前の賑ひであつたであらう、夜は中根前栄館で全館主催の映画無料公開があり錦上更に花を添えた。館主に対し深甚の敬意を表する。



### 感謝状を贈られた人々

建設及工事監督功勞者 工事委員長 久松信一  
 「工事施工者」 建築請負人 中沢勲謙 ○馨井工事者 坂本美登 ○電気工事施工者 大塚久三郎  
 「門柱寄附者」 酒井 栄  
 「建設委員」 酒井作衛、又松 茂、根本 登、本橋 徳次、飯島竹次郎、宮本直太郎、久保田健一、塚本 久弥、酒井新一、沼尻 正、片岡考一、豊島正雄、柳沢春一、猪俣三郎、根本養三、酒井きよ、藤沢達、根本嘉平治、飯島吉光、酒井治郎、沼尻重一、酒井喜市、沼尻昌雄、沼尻久好、久松誠、諸川長雄、酒井正衛、高巢仁藏、飯島菊雄、沼尻要之助、大山好義、酒井斐、諸井徳一、片岡秀康、  
 「建設用地委員」 沼尻謙次郎、沼野武男 宮島 正、久保田一郎、沼尻正男、岩瀬芳一郎、黒田三郎、岩瀬 弘、沼尻四郎、  
 「土地提供及耕作放棄者」 花岡 昌、手島作太郎、沼尻伊之助、沼野武男、沼尻正男、片岡弥一郎、

竹中敏夫、沼尻 勇、沼尻宏雄、岩瀬健二郎、市村 徳夫、久松 誠、沼尻 繁、諸井政男、増山正巳、沼尻 紀、佐藤忠吾、渡辺幸次郎、増山佐一郎、木村波二、藤沢藤太、前田庄一郎、菅谷吉吉、  
 「工事促進に努力の工事保証人」 酒井助衛、小林喜一、久保田 実、豊島庄一、

### 竣工祝賀協賛会役員名簿

会 長 岡田節二、  
 副会長 酒井嘉幸、酒井きよ、沼尻久好、  
 総務係 根本一之(主任) 久松 茂、沼尻要之助、酒井治郎、猪俣三郎、根本養三、沼尻 弘、酒井伊右衛門、  
 会計係 菊池民雄(主任) 岩瀬 謙、  
 記録係 大久保四郎三郎(主任) 末柄要藏、鷹巢忠一、  
 庶務係 栗栖三男、木村 憲、藤田 卓、  
 受付係 久保田泰(主任) 軽部哲太郎、柳沢春一、猪俣賢吉、飯島一男、石渡六郎、久保田清江、  
 接待係 酒井 晋(主任) 根本 登、飯島長太郎、酒井高次、酒井ひで、中村千枝、酒井浩、飯島和子



進行係 塚本 清(主任) 酒井作衛、酒井光男、市村芳男、鷹巢 清、

会場係 市村徳夫(主任) 片岡弥一郎、飯島重天、酒井助衛、高巢仁蔵、沼尻 正、須藤茂雄、飯島忠之助

宴会係 平身作太郎(主任) 小倉松三郎、豊島 亨、五頭良雄、諸井徳一、酒井敬之助、酒井長利、大山重右卫門、柴沼孝雄、

救護係 岡田 久(主任) 片岡とく、余興係 豊島一之丞、小林喜一、沼尻 繁、窪町 正、外農協余興係全員

生徒係 中學校 鈴木 清(主任) 中島光雄、石田良子、大久保富子、小學校 酒井邦夫(主任) 桜井 光、倉田利夫、岡 政夫、渡辺信雄、笹本節子、宮沢信子、石渡直以、岡野貴美子、大沼光子。

揚雲達今日の岡校健かに春郊を一望にして校舎成る初東風や木の香かくわし新校舎校庭に囀る雲雀空高く

沼尻教子 植野春風 沼尻亮風 飯島峰雪

### 中学校新築落成 座談会

日時 二月廿四日 公民館  
場所 於

- 村 長 藤沢勲兵衛
- 村会議長 岡田節二
- 中学校長 猪俣 三郎
- 小学校長 根 本 養 三
- 教 育 長 塚 本 清
- 中PTA長 酒 井 きよ
- 小PTA長 沼 尻 久 好
- 司 会 長 大久保四郎三郎

司会者 愈々待ちに待った中学校が落成しましておめでどううございました。去年の一月二十日に起工式をあげてから約一年と二ヶ月か、った訳ですが、その間色々の障害や問題が次々と起りまして、産みの苦と申しましうか、ともかく並々ならぬ苦労と犠牲の結果によつて、今日の完成を見る事が出来たものと信じます。今席は一つ、これまでの経過に対する反省や感想それから今後の抱負や計画などをお話し合ひ願ひまして本村教育上の劃期的チャンスと意識づけ頂きたいと存じます。どうぞ忌憚なく御発言下さいますようお願い致します。先づ中学校が落成しました御感想を各々の立場からお願ひいたします。

藤沢 昨年一日起工以来一年有餘、その間色々苦しかった事もありましたが、私としては、皆様の寛大な御理解と御協力によつて出来上つたという感激以外には何もありません。

岡田 色々の困難があつても、誠心誠意事に当れば如何なる事でも、村民も納得してくれりし、すべてを了解し、協力していたゞけるといふ信念を深くしました。

猪俣 村長さん始め、村の皆様のお力によつて新築が完成いたしました。あの薄緑の新校舎——ほんとうに生徒の憧れの校舎が出来上つた事に対し、只感謝するのみです。

根本 新制中学の教育が独立校舎の新築により、名実<sup>に</sup>充実した発展を期待できます事を中心から祝福いたしたいと思ひます。

酒井 PTAの皆様が新しい教育に目ごめ、中学校の独立校舎を村へお願い致しました所、村当局は直ちに之をお取り上げ下さつて建設の運びとなり、栄の子供たちの立派に伸びゆく事を心から喜ぶ次第です。

塚本 観音台上に新しく出来た学び舎を仰いで、こ

れまでに皆様から寄せられた御協力に感謝の外ありません。同時にこの大事業を完成した事は、将来の子孫教育に一大飛躍を見る事を思ふと昆びに堪えません。

沼尻 世話もやけ、腹も立ち、又我慢もしてきた我々としては、全く皆様と同感です。

司会者 工事が大変遅延いたしましたので、村民の間に色んな事が取沙汰されて来たようですが、その重なる原因又は真相は、一体どこにあつたのですかね。

藤沢 原因と申しましたが、それはあらゆる悪条件が集積しているのです。その根本は我々当事者の諸員工事に対する知識が足りなかつたという事です。ために諸員人の選定方針と入札の方法を過まつた事です。即ち諸員価格の最低額を決定しておかなかつた事。それに諸員契約后木材等の価格が急激に上昇し、諸員人の金融面に異常の困難を与えた事等です。

岡田 全くその通りに違ひありません。結局「安物の買ひの銭へらし」とみたいな事になつて終つたわけですね。司会者 結局諸員の方でも、液す方にも無理があつたというわけなんですね。ではその間の苦労話の代表的なものをお話し願ひしましょう。

藤沢、寄附等の問題で、前任者が村民に公約した行きがかりがあつたので、話をまとめるまでに相当苦勞をした。議員が率先して寄附をまとめて呉れたので、安心して手をつける事が出来た。

岡田 最初のすべり出しは良かったが、工事に取りが、つてから、用地問題や金繰りの面ですんぐ、悩まされたのは實際参つたね。

司会者 学校としても色々悩みがあつた事でせうね。猪俣 工事の遅延によつて学校の年間計画に食連い生じた事は、誠に遺憾であつた。夏休み中の除草など二期に入れる予想のもとにやらせ、又冬休みの大掃除は一月から入れるという約束のもとに作業をさせたが、結局子供達をだました事になつてしまつて、その信頼感を失わせたという事はまことに取り返しのつかない事と思つて居ります。

根本 小学校としても実験学校の計画に障害を来した事は事実だが、一番大きな問題は精神的のマイナスであつて、子供は子供なりに、色々の事をきいて居りますから、その指導には万全を期したいと考えます。

藤沢 当初の予定通りゆかなかつた事は私の力の足

りなかつた責任であつて、子供等に対して何べんも叱をついた矣、全く心苦しい次第です。

司会者 学童に与えた功罪の問題になりましたね。塚本 その其では両校ともしつかりした指導態度を立ててゐてくれるので、大した心配はないと考えますが、要は、村や父兄方の今後の誠意と思ひます。

酒井 父兄が誤つた事を子供にさかせるために、子供に与えた影響も相当あると思つて、今后PTAとして父兄の良心的態度認識という事を、大いに考へるべきだと思ひます。

司会者 結局こんどの建設について、幣害罪失は相当あつたわけですが、決行した結果から見れば利点もあつたと思ひます。

藤沢 これからの計画では、昨年の冷害関係もあり村予算面から見ても現在できたふうな栄校は建てる事は至難と思つて。

岡田 昨年の風水害で材木等は着しく暴騰しているから、經費の面で約三百万円の差はあると思つて。今となつては誠によい機会だつたと考へる。

根本 廿九年度には学級も増える事ですから、現在

の旧校舎では小学校もどうしてもやつて行けないという状態ですから實際救われた訳です。

司会者 一年おくれたら大変だつたわけですね。猪俣 同感ですね。お互に広い運動場が出来ますから早ければ早いほどよい教育が出来るわけです。

司会者 小中学校が分離されて本当の独立学校として新築するわけですが、今后の構想や利害について各々の立場からおうかゞいしたいと思ひます。

猪俣 又一自然環境がよいという事。次に中学校としての誇りと昆びとを以て勉学出来る。三番目は広い運動場で運動が出来ますので、元氣旺盛な子供が精力的のはけ口を見つけて校舎のすみで悪い遊びをするような子供が、だんだん少なくなつてゆくという事。それから職業家庭課の施設を充分作れるので、職業教育の充実をはかる事が出来るという利点があると思つて。その反面の土地の関係で村の中核へつくる事が出来なかつた為、通学に不便になるわけですね。今后自転車通学の問題も起つてくると思つて、その点は特に父兄や村当局ともよく相談して善処して行きたいと思つて。

根本 オ一分高された、めに施設の面で今までより

補充する事が出来るので、懸案のあい路が一挙に解決できた点。オ二に今までのように併置されていると、自分の学校だという意識がなかつたが校庭を樹立するという点で非常にプラスになる。反面がキ大将になつて威張り出すという事も警戒しなければならぬ。村の教育は一貫してやらねばならないものであるから、離れた、めに教育上ソゴを来してはまづいと思つて一層連絡を密にして、定例に連絡会を開くことが大事と思つて。

塚本 学校保健の面から校地校舎が狭隘であるのでこれを解決したいこと。小中学校の本質から来る教育課程の問題などから出発して、独立校舎を必要としたのであるが、オ一に健康教育を基本的に考へたい事。

オ二に栄村の今日ある伝統を考へ産業教育を振興したい事、オ三に施設や管理の面で学校が二場所になるので、經費の負担の面を工夫してゆきたい事。オ四に中学校は小学校の延長であり国民普通教育の基礎であるから、一貫性を忘れないことが大切であるので、教育方針の連絡協調を計り円滑な運営を計つて行かなければならないと思つて居る。

酒井 P.T.Aとして名目は別れていても、仕事は全部一緒にやって来たのでありますから、今後嵩れても一層緊密にやってゆきたいと思えます。又校長の面は一時お互に不自由になると思うが、P.T.Aとして設備充実に協力したいと考えている。

沼尻 殊に校外生活の指導の面では、お互に協力して学校根性から、けんかや争いなどの起らないよう注意したい。

司会者 村当局の希望を一つ願います。

藤沢 学校教育の面は、教育委員会がやるので、村としては予算面に限られているわけですが、小中学校でお互に予算の分捕りをするような事は避けて貰いたいと思う。特に二十九年度など教育が如何に大事な根本問題としても、とても希望するだけの予算を上げる事は出来ないと考えてる。

司会者 次に議長さん一つ。

岡田 私としては、村長と同感ですが、特に窮屈な予算を有効に使って貰いたいと考えている。

司会者 では中小学校共、差し当り運動場や附属建物などの整備を急がねばならないと思うのですが、その

点をお願いたします。

猪俣 教育委員からどうぞ。  
塚本 運動場の整地が終わったら、取り敢へず一砂入れて貰わないとね。

藤沢 オ一地ならしですが、目下土木の方へブルドーザーをお願いして、やって貰う予定で目下交渉中だが高低測量は既にすんでいるからやり初めれば早いと思う。

酒井 校庭整備には、どこのP.T.Aでもやってるようですし、お金がか、るわけではないからどこでもP.T.Aで骨折ってやってもらい、じやないかと考えています。

沼尻 これまでも復員の協力で、一部の荒起しはしたわけですが、今後共出出来る限り会員に呼びかけて是非奉仕に協力をお願いしたいと思う。

藤沢 竣工式が来月六日の予定ですから、それまでに部落の勤労奉仕によつて出来る限りやりたいと思う。

猪俣 校庭の地ならしがすんだら、砂を敷いて貰う事、それに球技、野球の設備をしてほしい。

藤沢 それは取り敢えず、松塚のオニグラウンドの設備を移転する心算です。

根本 それから情操教育の面から言つて、美的環境と言う事も大切ですね。

藤沢 敷地の外廻りは全部道路にして、内側に築堤しその上に茶を植える。

塚本 植込も必要ですね。

藤沢 風致樹木の事も考える。

岡田 オ一健康上、日蔭が必要である。その時は村民から、寄附をお願いしたいものである。

猪俣 落葉樹としては桐の木も適当と思う。

根本 緑化を生産的に行く事も案外やないですか。

司会者 次は附属建物の件ですが。

猪俣 それは教育委員からお願したい。

塚本 オ一、給食室、使丁室、図書室、理科室、それから宿直室を必要とするんです。予算が相当大きいんで、教委としても決議して村の方に廻してあります。引越早々莫大な経費をかける事は出来ないから、給食室、使丁室、宿直室、だけは是非作りなさいと思つた。

藤沢 やりたいが予算がなにもやりくり困難だ。

やるのですれば寄附か増税ほかないと思うが、大体学校建設の例を見ると、どこの町村も相当の寄附を備つて

いるので栄村としては事業の割合に全く寄附の割合が少ないと思う。

司会者 次に小学校の方はどうゆうふうになりますかね。

根本 オ一案は、前の校舎を一教室残して取り払い中学校の附属建物に利用して運動場をひろげる。オ二案は、建物としては後の校舎が弱っているからあれを取り払つて教材園として、美的環境を設け情操教育に用いる。いづれにせよ十分研究せねばならないが、目下の処裏門から入つた場合は見られたもんぢやないから、むしろオ二案の方がよいのではないかと思う。

岡田 運動会の場合はどうするね。

酒井 あくまで合同でやってゆきたい。

司会者 通学道路の問題に移りましょう。

酒井 上境・中根からの道路をすぐにやってほしい。  
藤沢 向題は上境の場合ですが、差し当り岡野屋へ菓子屋の脇から館山下に通ずる裏道に砂利を入れたい。将来は土地改良事業に伴つて必然的に道路も変つてくると思うからその際に整備するのがよいと考える。

岡田 延縄路は旧道であるから県にお願して、早急に整備促進を期したい。

司会者 正門はどの辺につける計画ですね。  
 藤沢 正門は諸井政男氏の脇の山路を して、觀音堂前を通り、南側へ立てる考えである。それらの設計は目下土木出張所に依頼してある。  
 沼尻 土地の買上げも了解済みですから是非そうしてもらいたい。

猪俣 問題になるのは結局自転車通学の可否ですね。この点について特に皆様の御意見を承りたい。

岡田 あの辺は徒歩で通わせた方がよいと思う。  
 根本 小学校児童でさい吉瀬の方からも徒歩で通っているから、徒歩通学は無理でないと思う。

塚本 徒歩通学が適当である。自転車は特別の事情ある者に限り許可制がよいと思う。

酒井 そうゆう方面では、PTAとしては極力父兄の協力を求めたい。

沼尻 親が子供を愛おむる事がいけない。父兄の負担から考えても、仮りに一台ずつ備えるとなると一八の台だから、ざっと計算しても三百数十万円になる。もう一つ学校が立つよ。

司会者 さて今回の一大飛躍を機会に今後の村教育

の在り方、行き方について御意見を願いたい。  
 岡田 体育面の発展向上につとめたい。過去に於ては学習面はよかつたが、体育面に欠陥があつたと思う。これは運動場の狭かつたのが一つの原因であつた。

猪俣 中学校としては、教育の本質に即して行いたい。特に産業教育を重視したい。子供が幸福になるような施策を取つてゆきたい。

根本 保健体育面が一番欠けて居つたと思う。幸い運動場が広くなつたので完全給食と相俟つて、その実を上げたい。この村の子供は勤労精神に欠けて居るようであるから、幼く子供をつくつてゆきたいと思う。

酒井 子供の体育面と両親教育を一層充実させたい。  
 沼尻 その外に学校教育と家庭教育のつながりを一層密にして、生きた教育を押し進めてゆきたい。

猪俣 村長さん始め皆様が多大の犠牲を払つて作つて頂いたのですから、その御厚志を肝に銘じて教育の効果を上げるようにしたい。それには教師の熱、父兄の協力、環境の浄化によってよりよい成績を上げて、感謝したい。校舎が出来て魂を入れる事は、私達の重大な責務であることを痛感いたします。

根本 全く同意です。

岡田 校舎を自分のものと感つて清淨にして頂きたい。そうした気風も家庭に直接つながらる様とみなるのである。

酒井 勉学に真面目で特に中学生らしくしてほしい。  
 沼尻 PTAとしては今後は校外指導の面に、一段の工夫と努力が必要になつてきた。父兄には特に協力してほしい。

藤沢 これで学校建築が終つたわけではない。あと附屋設備をしなければならぬのであるから、教育をよく理解して実のある御協力を要望します。

塚本 いやいよ新校舎が完成すれば、村当局より学校管理一切を引継がれることになりませんが、此の感激を永く忘れる事なく、導村一体となつて、次代を背負う子供の教育に万全を期したいと思ひます。これには保健教育が非常に重大でありますので、この点大いに充実しなければならぬ。又産業教育に重点をおき、豊かな情操をもちつた人間像の陶冶につとめ、有意義な青少年の育成に努力したいと思ひます

司会者 では皆さん、長時間御苦勞様でした。

栄中学校卒業生名簿

昭和二十二年 男八名 女五名 計一三名

柴田謙、石黒忠雄、沼尻忠男、片岡恒憲、酒井久、沼尻勝義、横山守夫、岩瀬惣一、酒井良子、柴沼好江、沼尻ふみ、豊島ときわ、中西周子。

昭和二十三年 男二五名 女一七名 計四二名

本橋勇、室町登、高兼美津江、酒井誠、久保田敦之、久保田尚夫、久保田昭夫、久保田武、宮本康男、大山司、大久保実、宮本西之助、島崎貴、岩瀬正男、片岡政好、豊島庄一郎、寺田清、藤沢良雄、豊島邦夫、豊島文雄、根本利治、菅谷光男、加藤透道、増子留吉、沼尻孝男、室町さくの、室町たか、井坂ミツエ、沼尻文子、末柳美津子、渡辺好江、大山文子、酒井好江、沼尻トヨコ、増山ミサオ、沼尻さきみ、豊島徳子、上方美津子、根本和江、岡野いち、酒井道子、海老原道子

昭和二十四年度 男三六名 女三〇名 計六六名

大塚徳男、石黒茂、酒井幸雄、塚本利夫、本橋源兵衛、平島二郎、大津茂和、塚田三代松、杉田三郎、銭谷正、本橋武夫、飯島兵四郎、飯島昭男、桜井正直、飯

島那雄、坂野、沼尻久、入江透、大久保一郎、柳下理  
 塚本守、塚本充、加地正男、鈴木操、沼尻勤、諸井弘  
 藤沢光、五頭敬忠、五頭技南、上方光男、小松崎栄一  
 金村秀雄、飯島実、稻吉三郎、横田唯一、根本和明、  
 酒井信子、露久保はつ、平島くめ、美野本光子、鈴木  
 心み、久保田光子、鈴木道子、高梨はま、沼尻香津子  
 岩瀬せつ、沼尻よし、宮島輝子、沼尻すみ子、市村心  
 み、沼尻八重子、水野梅子、諸川貴江、花岡律子、久  
 保田富子、寺由とみ、菊地とよ、久松きみ、上方定子  
 五頭けい子、根本久子、寺島昭子、並島妙子、横山曉  
 子、山口永子、安相よし、

昭和二十五年 男三三名 女三九名 計七二名  
 石塚文子、飯島貞夫、磯山幹司、小川武、岡田守男、  
 大久保孝雄、上方進、岩瀬秀雄、久保田貞夫、久保田  
 昇、酒井二郎、小林庄一、酒井茂、五頭昭、酒井英則、  
 高橋芳宣、塚本久、寺田睦男、本橋邦夫、根本只男、  
 豊島正男、沼尻義郎、本橋武、藤沢嘉雄、深見英彦、  
 矢口真、室町敬、沼尻晃、本橋三郎、大山信也、平島  
 忠男、岩瀬あけ子、岩瀬とめ、五頭良子、片岡たか、  
 大塚テル子、片岡泰子、酒井ひさ子、菊地弘子、酒井

数子、久保田久子、酒井文子、佐藤文子、酒井光江、  
 小松崎節子、酒井こう、酒井文江、高巢弘子、酒井政  
 子、豊島道子、佐野ちい子、中村正子、沼尻トヨ子、  
 沼尻とし子、沼尻せつ、根本繁子、根本紀子、広瀬須  
 美子、花岡文子、室町菊江、藤沢勝子、諸川享子、久  
 松和子、久松はる。塚本きくの、里見秀子、本橋けい  
 豊島静子、根田つる。中村二三男、片岡勝子、  
 昭和二十六年 男三〇名 女二六名 計五六名  
 室町光英、久保田隆之、大塚憲、大久保正五郎、中島  
 唯男、上方孝義、八月朔日清一、美野本学、飯島勝男  
 、佐藤芳男、久松静二、塚本勝彦、沼尻安弘、飯島保  
 男、飯島英吉、小林一夫、鴻巣通、酒井作次、酒井  
 康男、酒井恒夫、島崎亮、鶴見仙次、寺島毅、中島武  
 夫、沼尻實男、根本久、久松一夫、皆川清、横田稔雄  
 下村はつ江、久保田喜子、久保田美江、鈴木文子、沼  
 尻琴子、室町みつ、本橋三江、久保田富子、沼尻みつ  
 江、鈴木久子、中島昌子、沼尻順子、沼尻ちよ、平島  
 とよ子、増山亨、平島初枝、岩瀬道子、久保田登子、  
 菅谷広子、中島文子、飯島信子、宇都木利枝、岡野せ  
 い、木村ひで、黒田はめ、酒井志律子、

昭和二十七年 男三一一名 三二名 計六三名  
 飯泉寛記、室町忠良、飯泉清、岩瀬宣明、小林靖定、  
 五頭隆治、笹原暁和、酒井貞男、高野実、寺田三男、  
 豊島庫之助、根本嘉樹、藤沢久雄、室町敷、本橋忠、  
 柳下馨、飯島克巳、飯塚国夫、坂替、酒井道雄、酒井  
 英雄、酒井正雄、酒井貞夫、里見勝男、塚本昇、塚本  
 純一、塚本実、塚本明、沼尻武、張哲勇、磯山勝男、  
 石黒すみ子、伊勢ふみ子、岩瀬啓子、上方信三、小松  
 崎静江、五頭実美香、酒井たき、酒井松野、酒井さく  
 い、中島せつ、沼尻百合子、野曲清子、平島かつ子、  
 程山栄子、本橋明子、本橋節子、荒川和世、飯島広子  
 井坂コト、上方一子、菊地千鶴、久保田澄江、奇藤喜  
 子、佐藤千栄子、酒井元子、露久保とみ、豊島心く、  
 沼尻房子、沼尻さく、増山よし枝、室町裕子、渡辺つ  
 ち

昭和二十八年 卒業見込生徒 男二四名 女二六名  
 計五十名 酒井一郎、酒井重夫、深見幸彦、大里忠臣  
 本橋恒夫、下村誠、片岡宏之、沼尻秀一、岡田森義、  
 中村三郎、塚本清、杉田照明、島崎捷、木村清、沼尻  
 正、諸井隆、久松繁、豊島治男、小神野弘士、豊島健

康、藤沢万世、岡野晃、鈴木守夫、岡本一男、宮本重  
 代、平島芳枝、平島広子、岩瀬よし、沼尻しげ子、金  
 村栄子、平島松、小松崎秀子、飯島たけ、酒井小み子、  
 沼尻まさ、久保田光子、酒井喜代、酒井和江、酒井和  
 子、島田政子、佐藤明子、岩瀬とし子、水野ふじ子、  
 増山和子、豊島和美、根本昌子、五頭喜代、中島芳子  
 根本等子、横田久子、  
 卒業生 男一八七名 女一七五名 計三六二名

### 栄中学校奉職々員名簿

氏名	取組	奉職期間	現在
酒井 栄	校長	自二二四 至二五三	土浦一中
中山 誠	教頭	自二二四 至二二三	斗利出中
小吹 正	教諭	自二三三 至二三五	不明(住所)
荒井 まき	〃	自二二四 至二三八	家 庭
片岡 実	〃	自二三三 至二五三	土浦才二小
田中正一	〃	自二三三 至二四三	家 庭
野口省三	〃	自二三三 至二七〇	斗利出中
市村 芳男	教頭	自二三五 至現在	現教頭
稻吉 一男	教諭	自二二四 至二三四	土浦才一高校

氏名	職名	奉取期間	現在
下村 武男	〃	自二二・四 至二二・三	死 七
岡田 和子	講師	自二二・九 至二四・三	死 七
久松 春三	教諭	自二二・五 至二四・三	土浦三中
米塚 古意子	〃	自二四・三 至二八・九	土浦四中
浦田 龍子	〃	自二四・二 至二五・二	東京文化学院
山中小石 門	〃	自二四・三 至二四・二	上大津村
久松 茂	〃	自二四・三 至二六・四	谷田部高校
高田 恵	〃	自二四・三 至二六・四	米塚小
猪俣 三郎	校長	自二五・三 至現在	現校長
木村 憲	教諭	自二五・三 至現在	現 取
松井 茶雄	〃	自二五・三 至二八・九	谷田部高校
石田 良子	〃	自二五・二 至現在	現 取
藤田 卓	〃	自二七・四 至現在	現 取
高田 栄治	専攻	自二七・九 至二七・〇	郵政官吏
大久保 富子	教諭	自二八・九 至現在	現 取
鈴木 清	〃	自二八・九 至現在	現 取
栗畑 三男	〃	自二二・五 至現在	現 取
中島 秀男	助教諭	自二八・三 至現在	現 取

中学校 竣工祝賀 協賛会 收支決算

収入の部

一金三万六千四百円  
 一金一万三千三百円  
 一金七万八千三十五円  
 収入合計金十二万七千七百三十五円也

会費収入 会員一八二名  
 一人二〇〇円  
 税金収入 米寄贈金計  
 村 交付 金

支出の部

一金四万六千三百五十円  
 一金三万三百五十円  
 一金二万五百五十円  
 一金千七百七十五円  
 一金千七百八十五円

宴会費(内訳折詰三七〇  
 一ヶ一〇〇円、酒四斗一  
 升四六。円、するめ一〇  
 把一把平均九五円)  
 村内配布用拭八五〇代  
 菓子代(内訳米糺引物用  
 箱入七〇ヶ一箱七五円、  
 生徒用六〇〇袋一袋二五  
 円茶菓子三〇〇円)  
 盆二五〇個代  
 米糺係員用パン一七〇代